

今日のトピック インド株式市場は最高値更新（2019年11月前半） 世界的に投資家のリスク選好姿勢が強まる

【インド市場の推移】

インド市場	基準日	騰落率または変化幅 (%)			
	11月11日	1週間	1か月	6か月	1年
為替レート					
円/ルピー (円)	1.53	▲0.5	▲0.0	▲3.0	▲2.8
ルピー/米ドル (ルピー)	71.47	1.0	0.6	2.2	▲1.4
金利 (%)					
政策金利	5.15	0.00	0.00	▲0.85	▲1.35
10年国債利回り	6.57	0.09	0.06	▲0.85	▲1.20
株式指数 (ポイント)					
SENSEX	40,345	0.1	5.8	7.7	14.8
NIFTY中型株100	16,812	▲0.3	8.1	▲1.3	▲4.5

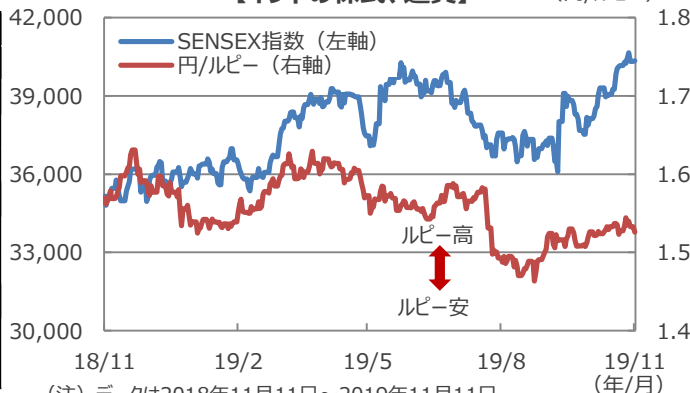
(注) データは2019年11月11日基準。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

(ポイント)

【インドの株式、通貨】

(円/ルピー)



(注) データは2018年11月11日～2019年11月11日。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ポイント1 SENSEXは最高値更新

- インド株式市場は、米中が貿易交渉で暫定的に部分合意に達したことや、英国の欧州連合（EU）離脱を巡り「合意なき離脱」の懸念が後退したことによる、世界的な投資家のリスク選好姿勢の強まりを背景に、堅調な展開となっています。政府が9月に発表した法人税減税に伴う7-9月期の企業業績の上振れも後押しし、代表的な株式指数のSENSEX指数は6月以来の40,000ポイント台を回復し、終値ベースで過去最高値を更新しました。

ポイント2 ムーディーズが格付け見通しを引き下げ

- 米格付け会社大手ムーディーズは11月7日、インド国債の格付けをBaa2で据え置く一方、見通しを安定的から悲観的（ネガティブ）に引き下げました。その理由として、成長率が大幅に下振れるリスクが高まったことを挙げています。ムーディーズは近い将来に格下げを実施する可能性が高いと思われます。今年に入りインド経済が急減速しているなか、多くの市場参加者は今後の景気回復を見込んでいますが、ムーディーズの判断はそうした見方に疑問を投げかけました。

今後の展開 高値圏もみあい

- 米中交渉の進展期待などにより投資家のリスク選好姿勢が強まっているため、世界的に株式が上昇地合いにあり、インド株式市場にも追い風となっています。ただし、9月以降の相場上昇で株価バリュエーションが高まっていることや、先行きの景気減速懸念が台頭するリスクなどから、短期的には上値の重い展開となり、高値圏でもみあいとなりそうです。

**ここも
チェック!**

2019年11月 7日 アジア・マーケット・マンスリー（2019年11月）

2019年10月29日 インド株式市場は持ち直し（2019年10月後半）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。